**JAMIT大会予稿タイトル**←12p MS明朝

赤字とこのテキストボックスは削除してください

山田　太郎\*1，鈴木　次郎\*2←11p MS明朝．所属番号を上付き数字表記

\*1 筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻←11p MS明朝

\*2 ㈱医用画像研究所←11p MS明朝

**English Title**←11p Times New Roman, Bold

Taro YAMADA\*1，Jiro SUZUKI\*2←11p Times New Roman

\*1 *University of Tsukuba*←11p Times New Roman, Italic

\*2 *Medical Imaging Laboratories, Ltd.*←11p Times New Roman, Italic

**要旨**：この部分に400字以内で和文要旨を書いてください．ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ ←9p MS明朝

**キーワード**：テンプレート，フォーマット（5語以内）←9p MS明朝

［行間1行あける］

**1. はじめに**←見出し10p MSゴシックボールド（英文は10p Times New Roman, Bold）

MS Wordで執筆される方はこのフォーマットにしたがって原稿を作成してください．なお，この書式は変更しないでください（フォントの大きさ，ページサイズ，段組，文字領域，行間，余白など，このスタイルを守ってください）著者の所属，住所，電子メールアドレス等を1ページ目に書いてください．

JAMIT大会予稿は2ページでご執筆をお願い致します．大会査読付論文制度を利用される場合は2ページを超えてご執筆いただけます．この制度への投稿論文に対しては，MIT誌規定通りの正規の査読がなされますが，早めに出版できるように査読のプロセスを工夫しております．論文採録後にフォーマットの変更をお願いする場合があります．

←本文9p MS明朝．英文は9p Times New Roman

**2. 本文の書き方**

本文は原則として2段組（1行あたり約24字）でお書きください．ただし，図表の配置などの関係でうまくいかない場合は，1段組みでも構いません．その場合は1行あたり約48字でお書きください．また，本テンプレートはA4サイズです．

電子付録を含まない論文の場合は，ファイルのサイズは10Mバイトを上限とします．電子付録を含む論文の場合は，執筆要領に説明があるファイル形式で1論文につき5ファイルまでファイルサイズは10Mバイトを上限とします．

1）フォントについて

用いるフォントは原則としてこのテンプレートに倣ってください．次のようなルールになっています．和文は見出しのみMSゴシック（太字），その他はMS明朝．英文は全てTimes New Romanとしてください．

フォントのサイズ：

タイトル　12ポイント

著者名　11ポイント

要旨　9ポイント

本文　9ポイント

2）図表について

図表の番号は図1, 表1などとし，キャプションは和文でお願いします．また，図表中の説明は和文と英文のどちらでも可とします（論文単位で統一してください）．次頁の例を参考にしてください．

デジタルカメラやスキャナから図を取り込む場合の解像度の目安は，だいたい300dpiです．もちろん，図の大きさにもよりますので，文字などが十分判別できるように，適宜行ってください．（論文の場合，印刷時に図が判別しにくい場合には，高精細な図を別途お願いすることがあります）図はカラーでも結構です．カラーの図はカラーのまま電子出版されます．

2段にまたがるような大きな図がある場合，2段組の文章と混在させて原稿を作るのが難しいかもしれません．このような場合は，前述のとおり1段組で本文を書いていただいて結構です．また，図がうまく所定の位置に入らない場合は，まず図を選び，マウスの右クリックでメニューを出し，下から2番目の図の書式設定を選び，その中のレイアウトを選んで，四角を選ぶとうまくいきます．

3）句読点について

句読点は必ず「，」「．」に統一してください．「、」「。」を用いたり両者が混在したりしている原稿が見受けられます．

4）ハイパーリンクの利用

このテンプレートファイルは基本的に冊子体の論文誌または抄録集をイメージして作成されています．しかし，URLを記載することで読者の理解を深めるならば，その利用も可とします．ただし，そのURLをクリックしたときに，「そのコンテンツが不明」というような一時的なコンテンツにはリンクを貼らないでください．あくまでも，永続的に存在するURLに留めてください．

5）数式について

数式は原則としてWordが持つ数式入力機能を使ってください．数式を入力した行では行間を「1行」に変更してください（Wordの段落の設定で行間を「固定値」から「1行」に変える）．以下にサンプルを示します．

(1)

数式には右隅に番号をつけてください．ベクトル，行列，テンソル，パラメータをどのような記号で表記するかはルールを定めていませんが，理解に支障がない一般に使われている表記を用い論文中で統一してください．

6）参考文献について

文献は文中で引用された順に番号を付けることとし，かぎカッコで［1］，［2］，［3］などと記載してください．

著者名は3名までとし，以下はet al. または他，としてください．

雑誌はこのテンプレートの例の［1, 2］に倣ってください．

著書は和・英文ともに，著書名，書名，巻数（版数），発行社名，発行，地名，発行年（西暦），頁，の順に記載し，分担執筆の場合，分担者が明記してある場合はこれを記載してください．このテンプレートの例の［3, 4］に倣ってください．

**3. まとめ**

以上，本テンプレートにしたがって原稿作成をお願いいたします．

**謝辞**

　〔例〕研究遂行にあたり貴重なご助言を賜った田中栄一 日本医用画像工学大学名誉教授に深謝いたします．本研究はJSPS科研費 JP12345678の助成を受けたものです．

**利益相反の有無**

　著者グループが各々の本務とする機関・団体以外の企業あるいは営利団体との利益相反関係がある場合には，ここに利益相反関係を明示してください．なお，公開の基準については，「利益相反の取り扱いに関する規定」第3条（COI自己申告の基準）を参照のこと．

http://www.jamit.jp/outline/agreement/rieki.html

〔例〕本研究の一部は㈱MIT製薬の研究助成金を得て実施された．無い場合は、「なし」と記述してください．

**文 献**

［1］田中栄一：解析的3次元再構成． Med Imag Tech 18: 33-39, 2000

［2］Ogawa K, Harada Y, Ichihara T et al: A practical method for position dependent Compton-scatter correction in single photon emission CT. IEEE Trans Med Imag 10: 408-412, 1991

［3］岸上義彦，橋本良夫：画像解析と細胞診．辻内順平編：応用画像解析．共立出版，東京，1981, pp198-210

［4］Muehllehner G: Scintillation Camera Collimators. In: Nucelman S, Patton DD eds. Imaging for Medicine Vol. 1. Plenum Press, New York & London 1980, pp77-87←7.5p MS明朝，英文は7p Times New Roman